

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20 (8)	コロナ禍における外部との接触困難な状況で、家族面会もままならない。ご利用者様がストレスをためやすくなる。今後もこの状況は改善の見通しがつかない中工夫と柔軟な対応で乗り切っていくことを考えていく。	コロナ禍においても、社会から隔離することの無いように、感染対策をしっかりとおこない、利用者様が穏やかに安心して暮らせる環境を提供する。	オンライン面会の実施、少しずつでも社会との関係性が持てるような工夫を行う。	6 か月
2	26 (10)	1ユニットの9人のご利用者様に対し、職員が十分な配置人数としているが、サービス提供内容が単調になっているように感じる。計画作成を行う上で一人一人のご利用者様に対し十分なアプローチを行い計画に生かし全スタッフで共有できるようにしていく必要がある。	ご本人、ご家族の意見を十分に反映できる介護計画の作成。ご利用者様主体のケアの本質をスタッフ全員で共有できるようにする。	ご利用者様全員に対し、丁寧にアセスメントを行う。また、定期的に会議をもち情報の共有を徹底し手厚い対応を心掛ける。	12 か月
3	35 (13)	危機管理を十分に行えるよう定期的に防災マニュアルに基づく職員周知を行う。	スタッフ全員に対して、防災マニュアルの周知、危機管理意識を高める。	いつ何時もスタッフ全員が危機管理意識をもち柔軟な対応ができるよう普段から研修等行う。	6 か月
4	6 (5)	経験の浅いスタッフも多いのと、ベテランスタッフでも認知症の方の対応には苛立ちを覚えることもあり、施設内における拘束・虐待について、徹底して研修を行い、スタッフの理解を深め、絶対に起こりえない容易にしていくことが必要である。	法人内に拘束・虐待の事象が絶対に発生しないようにスタッフ全員の意識を高める。	徹底した研修・勉強会の実施(年に2回以上)ヒヤリハット・事故報告書による些細なことでもみのがさない姿勢づくりを職員にたいして育成していく。	6 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。